

結核定期健康診断報告書

世田谷保健所長 へ

実施月 ■■■年■■■月

健康診断を実施した時期を記入

報告年月日 ■■■年■■■月■■■日

提出日を記入

| | | | |
|--------|-------------|-------|----------------|
| 所在地 | 世田谷区〇〇■—■—■ | | |
| 医療機関名等 | 〇〇クリニック | | |
| 連絡先 | 担当者名 | 北沢 三郎 | 電話 (〇〇〇〇) ■■■■ |

報告内容について、お尋ねすることがあります。回答できる方のお名前・電話番号を記入してください。

<記入にあたって>

1. 該当欄に人数を記入してください。
2. 潜在性結核感染者とはQFT、T-spot、ツベルクリン反応いずれかが陽性で、診断した医療機関から発生届が出された方をいいます。
3. 結核発病のおそれがある者とは「医師による直接の医療行為は必要としないが、定期的に医師の観察指導を必要とする者」をいいます。
4. 『対象者数』等は、産休・育休・病気休暇中のため受診していない方を除いてください。
5. 対象となる方に未受診者がいる場合は、その理由をご記入ください。
個人で人間ドックや住民健診等を受診した方も、健診結果の報告を受けた場合は、受診者として計上してください。

<実施結果>

| | | 職員 (人数) |
|----------------|----------------------|------------|
| 対象者数 | | 10人 |
| 受診者実人数 | | 7人 |
| 検査別受診数 (再掲) | X線検査受診者数 | 7人 |
| | 喀痰検査受診者数 | 人 |
| | QFT検査受診者数 | 人 |
| | T-SPOT検査受診者数 | 人 |
| 被発 元者 数 | 発見した結核患者の数 | 0人 |
| | 潜在性結核感染者の数 | 0人 |
| | 結核発病のおそれがあると診断された者の数 | 0人 |

【未受診者がいる場合その理由】
(産休・育休・病気休暇中の者を除く)

妊娠中 1人
兼務者が他勤務先で受診 1人
病気治療でX線検査を受診 1人

未受診者がいる場合は、必ず記入してください。

「未受診者」の考え方

○産休・育休・病気療養中などで、他の職員と日常的に接触しない職員は対象者に含めない。
→対象者数から除き、未受診理由は不要

○職場の健康診断は受けず、人間ドッグ等で自己管理している場合。
→受診結果の報告を受けた場合は職場健診を受けた方と同様に「受診」として扱う。

受診結果の報告がない場合、未受診(理由:『人間ドッグ結果報告なし』など)を記載する。

【報告内容に変更がある場合】

いずれかの方法でご提出ください。

- ① 報告書を差替える。
上部余白に「差替」と記載してご提出ください。
- ② 既報告に追加する。
上部余白に「追加」と記載して、追加分の人数のみ計上してください。

【結核健康診断の検査項目について】

①が結核健康診断の中で一般的に行われる検査です。②~④を実施することは稀です。

① X線検査

胸部のレントゲン写真の撮影。肺の状態を確認し、発病の有無を調べる。

② 喀痰検査

痰の中に結核菌が存在するかを確認し、排菌の有無を調べる。

(肺がんの喀痰検査とは別の検査です。)

③ QFT検査・T-SPOT検査 (IGRA検査)

採血検査。結核に感染したときにできる抗体の量を確認し、感染の有無を調べる。

④ ツベルクリン反応検査

検査薬を注射して反応の状態を確認し、感染の有無を調べる。

定期健康診断を実施すべき者の人数。長期間にわたって勤務していない者(産休・長期休暇等)を除く。

結核健康診断を受診した実人数。一般の健康診断を受診したが、結核の検査項目を受診しなかった者は除く。

検査項目ごとに受診人数を計上する。2項目以上受診した場合は、それぞれに計上する。

「結核」と診断された者の人数

QFT、T-spot、ツベルクリン反応のいずれかが陽性となり、治療のための服薬を行っている人数

経過観察等と診断された者の人数